

女性による女性のための相談会

松元 ちえ

ジャーナリスト

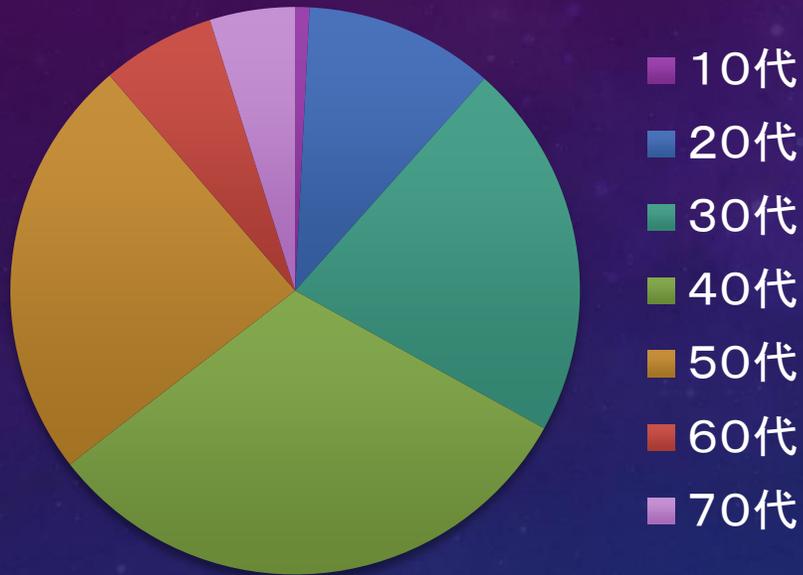
女性による女性のための相談会実行委員

本日の報告

1. 相談会の概要
2. 相談の特徴
3. 女性が抱える問題の背景
4. まとめ

相談会概要

人数



- 開催日：2021年12月25日、26日、2022年1月8日、9日
- 場所：新宿区立大久保公園
- 後援：東京都／日本労働弁護団／日本労働弁護団女性労働PT
／第二東京弁護士会
- 相談内容：生活、労働、法律、DV／性被害、家庭／家族、
子育て、妊娠／出産など
- 対応言語：やさしい日本語、英語、ベトナム語、手話対応
- 相談件数:

2021年12月26日： 86件（17時現在） 託児5件

12月25日： 83件（17時現在） 託児3件

2022年 1月 8日：115件（17時現在） 託児5件

1月 9日： 98件（17時現在） 託児7件

（新規48件、再来訪50件（2021年3月実施の相談
会以降の再来場者）

相談の特徴



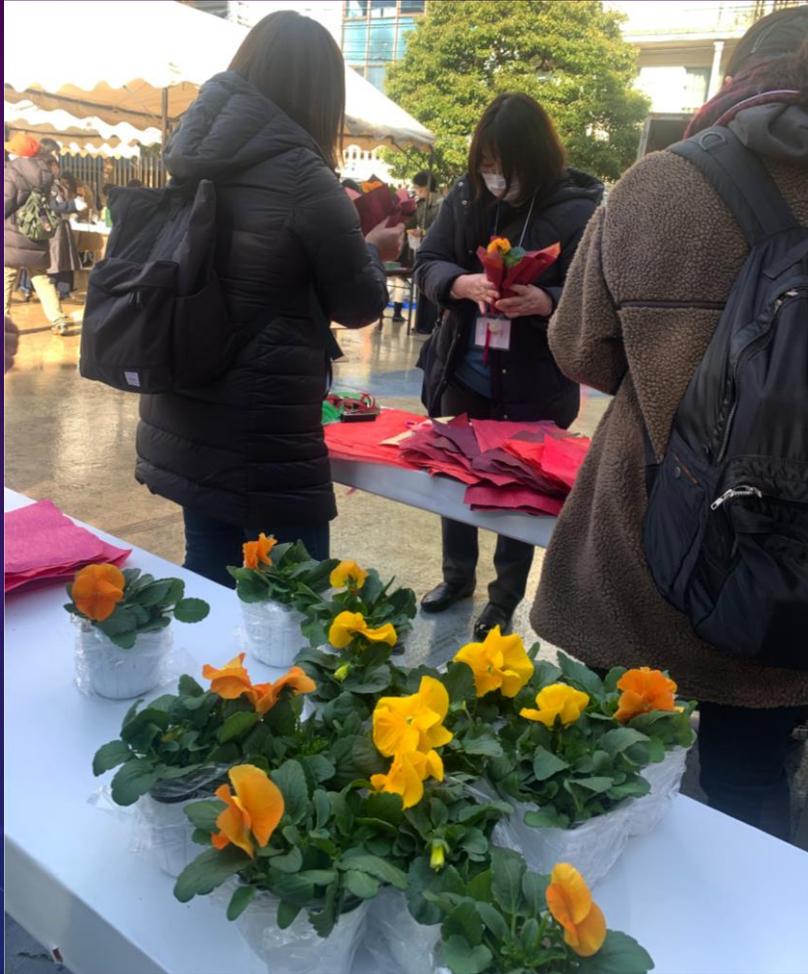
- コロナ長期化でこれまでの生活が破綻。（女性不況）
- 何らかの疾患を抱えているため、医療相談が多い。（失職で保険資格喪失、切り替えられていない）
- 以前に処方してもらっていた薬と同効果の市販薬を求める。（コスト増）
- 親からの虐待、DV、失業、病気、子育ての悩みなど、女性が潜在的に抱えている「生きづらさ」に起因する相談。一人が複数の問題を抱える。
- 女性（男性であれば「働き盛り」と言われる、特に中高年、高齢、単身女性）の支援が希薄。（住まい、精神疾患／障害など）

女性が抱える問題の背景 1



- 暴力（性暴力、虐待など）
3人に1人の女性（UN Women 2020）
精神疾患 & 精神不調
- 不安定な生活
 - 労働問題（短期雇用、低賃金）
暴力やハラスメント
- 孤独、孤立
自殺率の増加（前年比+935）
（2021年11月発表）

女性が抱える問題の背景2



- ◆ 他者の世話をしなければならぬ／世話をしよう期待されていると感じる
- ◆ 他者を優先する習慣
- ◆ 困難を抱えているという意識の欠落
- ◆ 支援を求めるまでに至らない／求めてもいいんだ、という意識もない
- ◆ 家族の世話や義務的役割、家庭内での暴力なども合わさった、外的内的要因のために支援にたどり着けない
- ◆ 相談先でハラスメント、上から目線の対応
- ◆ 行政、医療アクセスへのハードル

まとめ 相談会から見えてきたこと



- ✓ 取り残される存在
- ✓ 女性にとって安心・安全な場所
- ✓ コロナに限らず女性が自立できるような社会のしくみの必要性
- ✓ 女性による女性のための相談会のようなアクションや支援活動が、女性たちをエンパワーし、さらに彼女たちのパワーを必要としている女性たちに届けるという力のサイクル
- ✓ 女性が勇気付けられる草の根の運動
- ✓ 女性の連帯が各方面に拡大

Free Consultation for Women by Women
8-9 Jan. 2022
25-26 Dec. 10-11 Jul. 13-14 Mar. 2021

女性による 女性のための相談会

報告と政策提言

長引くコロナ禍で、真っ先に女性が家庭や職場を逃われ、安心・安全が大きく揺らぎました。しかし根本的な問題は、パンデミックであぶり出された社会の差別的構造にあります。

2021年3月から計4回実施した相談会を通して可視化した、女性の生活を困難にする社会課題・政策課題を訴え、私たちは下記の通り、女性にも未来ある社会を求める提言を行います。

院内報告会

時間 2022年4月20日(水)18:00~19:45

場所 衆議院第二議員会館多目的会議室
(千代田区永田町2-1-2)

参加申込みは
こちらから

なお、本報告会はリアルとオンラインのハイブリットで開催いたします。お手数ですが、どちらのご参加も左記のQRコードからお申込みくださいますようお願い申し上げます。みなさまのご参加をお待ちしております。



<https://onl.sc/GyT5fdU>



女性による女性のための相談会実行委員会

お問い合わせ sodanforher@gmail.com

#女性相談会

検索



女性のための政策提言

4月20日(水) 18時~19時45分

衆議院第二議員会館 多目的会議室